

学生支援の現場から

『退学者防止と学生支援』
山梨学院大学の新たな取組

芦沢 政巳
(山梨学院大学 学生総合支援室課長)

本学では、平成一八年
度に新たな学生支援組織
(併設短大の支援業務兼
務)である学生総合支援
室を開設した。スタッフ
は教員一名、職員三名の
四名体制である。学生総
合支援室の業務は、総合
案内、学習支援、学生生
活支援、及び県人会事務
局業務に大別される。



- ① 総合案内／学生からのあらゆる質問に対応する。原則として「その場での解決」を目指し、その場で解決できないことは該当部署等につなぐ。
- ② 学習支援／年間を通じての修学面談(留年、修得単位不足学生等を対象)、個別学習相談、基礎学力向上のための講座開催、レポート作成指導等。
- ③ 学生生活支援／各種生活情報誌等の閲覧、『ニンテンドーDS』を使った常識力トレーニング等。
- ④ 県人会／出身県単位の学生組織である「県人会」の設立支援と事務局業務。

学生総合支援室には、
前述の業務のほかに「退
学者の減少を図る」とい
うミッションがある。本
学が退学者防止で心がけ
ていることは、成績不振
に陥る可能性のある学生
を早期に把握し、成績不
振者の発生を「予防」す

ることである。特に、一年生への支援が重要と考えている。
四月から五月にかけて、『新入生研修』(必修の新入生ゼミ)
を三回以上欠席した学生のリストを担当教員から提出して
もらい、学生総合支援室が該当学生をフォローしている。
また、前期試験結果が思わしくない学生を対象に、保護者
を含めた三者面談を一〇月に実施し、早い時点で軌道修正
ができるようサポートしている。その結果、退学率は着実
に改善している。

大学全入時代の到来により、入学者の学力と学習意欲は
多様化する傾向にある。
それだけに学生支援プロ
グラムも決して画一的で
はなく、学生のレベルに
応じた複数のプログラムを
用意しなければならないと
思う。本学はこれからも、
学生の立場に立った個性
的な学生支援プログラム
を創出し、更なる学生満
足度の向上を図りたい。

